

変化するマレーシアとオラン・アスリ

デジタル画像を通じたフィールドとの対話



2023年2月23日（木祝） 5:00-7:30pm

開催: Zoom

登録: <https://bit.ly/OAJapan2023>

言語: 日本語, 英語, マレー語



Photo: Jefree Salim

共催 アジア・アフリカ言語文化研究所 (AA研) 基幹研究人類学「社会性的人类学的探求」

マラヤ大学 マレーシア先住民研究センター

キーン大学 オラン・アスリ・アーカイブ ほか



JSPS KAKENHI Grant No.
20H04432 and 19K13461

変化するマレーシアとオラン・アスリ

デジタル画像を通じたフィールドとの対話

2023年2月23日（木祝） 5:00-7:30pm



(Zoom開催)

登録:<https://bit.ly/OAJapan2023>
プログラム

言語: 日本語, 英語, マレー語
(オンライン 同時/逐次通訳)

5:00 河合文 (AA研, 東京外国語大学) 開会の辞: マレーシアの変化とオラン・アスリ

5:05 小谷真吾 (千葉大学)

タマンヌガラ周辺のオラン・アスリ定住村落の人びととその変化

5:15 須田一弘 (北海学園大学)

トレンガヌ州スンガイ・サヤップの経済活動

5:30 口蔵幸雄 (岐阜大学名誉教授)

トレンガヌに定住したスマッ・ブリ集団の経済活動 (1978-1979年を中心に)

5:45 Juli Edo (CMIS, マラヤ大学)

スマイの土地権の変化: あるひとつのエスノヒストリー

6:00 Lipah Anjang (スマイ女性)

女性の役割のいま昔

— 質疑応答・休憩 —

6:25 Jefree Salim (スラター写真家)

スラター: ジョホール州の海の民

6:40 信田敏宏 (国立民族学博物館)

ヌグリ・スンビラン州のトゥムアンにとっての転換点

6:50 Shereen Ajani (マラヤ大学)

ブキットランジャンのトゥムアン: 開発後の22年

7:00 Rusaslina Idrus (CMIS, マラヤ大学)

土地権のための映像民族誌

— 質疑応答・議論 —

7:20 Rodney Obien (Keen State College)

閉会の辞: 記憶の家としてのオラン・アスリ・アーカイブ

変化するマレーシアとオラン・アスリ

デジタル画像を通じたフィールドとの対話

「オラン・アスリ(Orang Asli)」はマレーシア半島部の先住民の総称です。
海の民、農耕民、 獵採集民と多様な18集団が含まれ、その暮らしは様々です。

—しかし、マレーシアの急速な発展の下

オラン・アスリの多くが大きな変化を経験してきました。

2023年2月23日 (木祝)

5:00-7:30pm

—Zoom開催—

本シンポジウムでは
オラン・アスリの人々、マレーシアの研究者、日本の研究者が集まり
写真を通してオラン・アスリの暮らしの変化について語ります。



登録:<https://bit.ly/OAJapan2023>
言語: 日本語, 英語, マレー語
(オンライン同時/逐次通訳)

Photo: Jefree Salim